

II-3 歯学系CBT

(1) 内容

① 試験ブロックの構成

ブロック	問題形式	設問数, 制限時間	コア・カリキュラム項目等
ブロック1	単純5肢択一	(60設問, 1時間)	(A~E) (ブロック内で見直しが可能)
ブロック2	単純5肢択一	(60設問, 1時間)	(A~E) (ブロック内で見直しが可能)
ブロック3	単純5肢択一	(60設問, 1時間)	(A~E) (ブロック内で見直しが可能)
ブロック4	単純5肢択一	(60設問, 1時間)	(A~E) (ブロック内で見直しが可能)
ブロック5	多選択肢2連問20設問 順次解答2連問20設問	(一旦解答して次の問題に進むと元の問題に戻れません)	
	合計	(40設問, 1時間)	
ブロック6	順次解答4連問	(40設問, 1時間)	(一旦解答して次の問題に進むと元の問題に戻れません)
	合計	320設問	
ブロック7	アンケート		

② 問題の形式

・ 単純5肢択一問題

単に、記憶しているかどうかを問うことよりも、解釈・思考力を問うことを重視しています。また、基礎・臨床の知識を統合した問題や病態発生にかかわる基礎的な内容や基本原理及び病態生理を問う問題を重視しています。

・ 多選択肢2連問形式の設問

同一のテーマについて、内容の異なる2つの連続した設問に共通した多くの解答選択肢の中から一つを選択します。

・ 順次解答連問形式の設問

2連問と4連問：同一の症例について、関連する2つ又は4つの設問が連続します。各設問の解答は5肢択一です。

③ モデル・コア・カリキュラム大項目ごとの出題割合

歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成22年度改訂版）に準拠しています。

コア・カリキュラム大項目	出題割合
A 基本事項	4.2 %
B 社会と歯学	8.3 %
C 生命科学	25.0 %
D 歯科生体材料と歯科材料・器械	4.2 %
E 臨床歯学教育	58.3 %

Ⅱ-3 歯学系CBT

(2) 成績返却

① 「個人別成績表」の返却フォーマット

各大学のCBT実施キット等が機構に全て返却された後、10日以内に各大学宛発送します。

2013年度共用試験歯学系CBT個人別成績表

試験実施ID: D13-9999-01000FA01

(採点日:2012/12/04 出力日:2012/12/04)

実施日: 2012/12/01

学校名: 共用大学歯学部

受験番号: DA999

試験会場: 共用大学歯学部

試験種別: 本試

〇〇教室

本試総受験者数: 100 (受験予定数:100 欠席者数:0)

学籍番号: 00000001

備考:

氏名: 共用 太郎

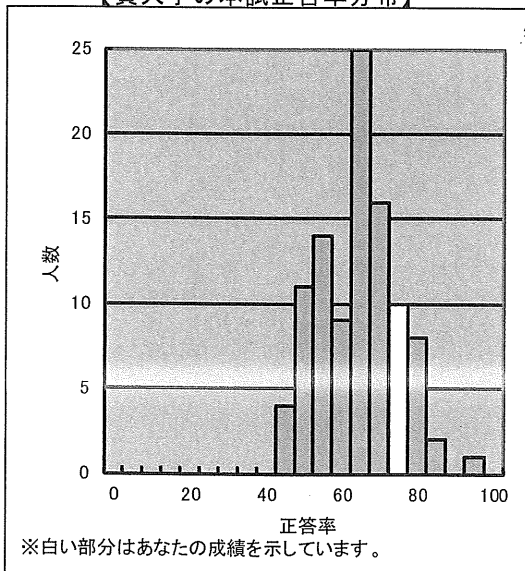
正答率: 73.82

あなたの順位は100人中26位です。

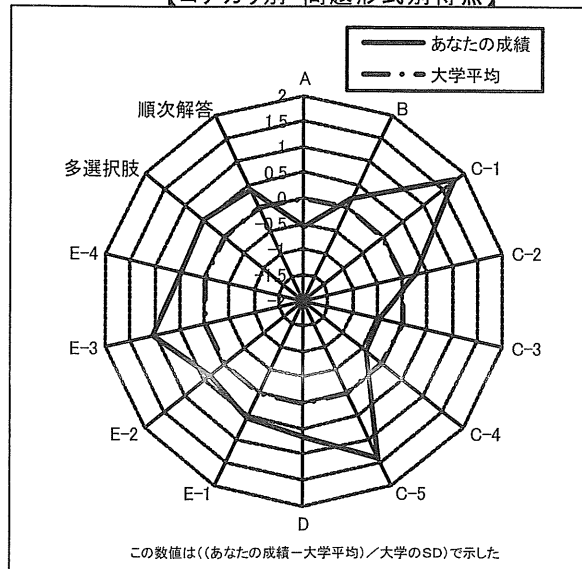
【コアカリ別・問題形式別集計】

コアカリ・形式	正答率	大学平均	大学最低値	大学中央値	大学最高値	大学SD
A	62.50	7				7
B	71.87	7				75
C-1	87.50	6				02
C-2	75.00	6				83
C-3	62.50	7				75
C-4	68.75	7				12
C-5	100.00	8				67
D	75.00	5				00
E-1	75.00	7				50
E-2	75.00	6				30
E-3	81.25	6				95
E-4	75.00	6				51
単純5肢択一	74.47	6				81
多選択肢	75.00	6				76
順次解答	70.83	6				35
合計	73.82	6				47

【貴大学の本試正答率分布】



【コアカリ別・問題形式別得点】



3 歯学系 CBT

(3) これまでの経緯

① 問題セット間平均難易度の標準偏差

トライアル期間中は、第1回の2.22点から最終までの間に1.07点に低下しています。正式実施開始後にはさらに低下し、第4回以降は、0.5点以下に維持されています。

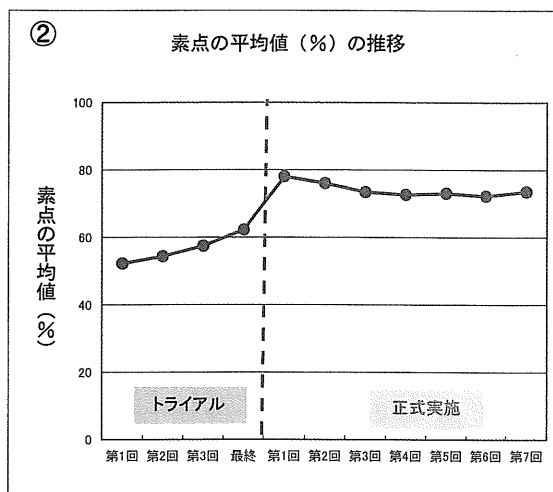
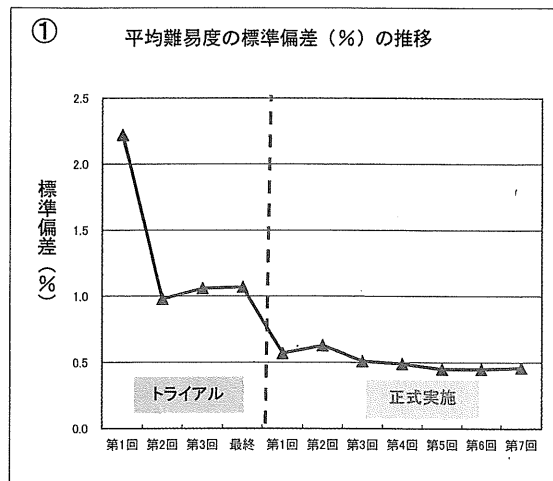
② 素点の平均値 (100点換算値)

トライアル期間中は、第1回から最終までの間に52.3点から62.3点に増加しているに過ぎませんが、正式実施に入り、第1回(2006年度)では、78.4点に達しています。第2回(2007年度)では76.1点、第3回(2008年度)では73.5点、第4回(2009年度)では73.1点、第5回(2010年度)では73.1点、第6回(2011年度)では72.3点、第7回では73.6点になっています。

③ プール問題数

最終トライアル後、正式実施開始までに予定した最少設問数の6,000題を超えた設問が採点対象となるプール問題として蓄積されました。

正式実施開始後は、新たなプール問題を確保するとともに、これまでのプール問題の総見直し作業が毎年継続的に行われています。類似問題等の重複調整、個々の問題の特性(正答率変化、識別指数等の変化、設問文の表現・図表の適切さ等)を検討し、必要に応じて修正、削除、入替えしています。

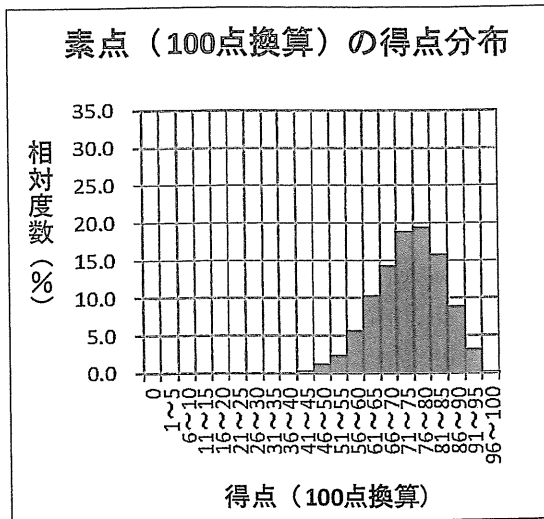


Ⅱ - 3 歯学系 C B T

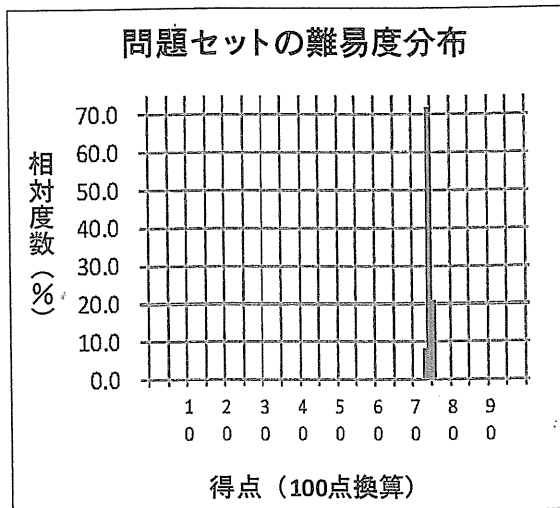
(4) 第7回 (2012年度) 全国成績

① 全体成績

前期に16大学、後期に13大学で実施され、2,551人が本試験を受験しました。採点対象問題の素点の平均値は73.6点、最高点は96.7点、最低点は38.8点でした。問題セットの採点対象問題の平均難易度分布の標準偏差は0.46点であり、難易度差は極めて小さな値となっています。



得点	
人数	2,551
最高点	96.7
最低点	38.8
平均点	73.6
標準偏差	9.8
中央値	74.4
2011年度 平均点	72.3



平均 難易度	
人数	2,551
最高点	75.1
最低点	72.0
標準偏差	0.46
2011年度 標準偏差	0.45

② 月別に受験者数と素点の平均値を下記の表に示します。受験時期が遅くなるに従って平均点が上昇する傾向にあります。

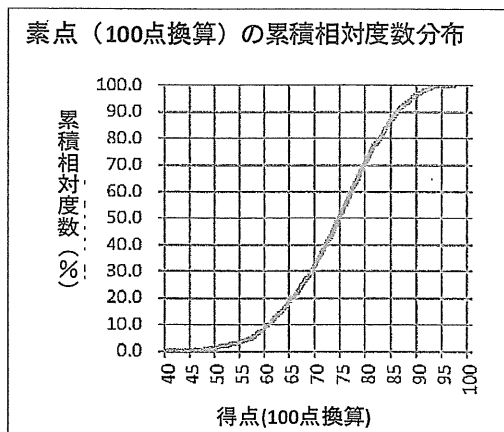
	実施 大学数	受験者 数	平均点	標準 偏差	2011年度 平均点
2012年1月	3	336	68.4	10.7	69.4
2012年2~3月	13	1,410	72.9	9.3	70.9
2012年6月	4	349	74.3	9.1	73.6
2012年7月	6	304	79.6	8.0	77.0
2012年8月	3	152	78.5	7.5	76.2

Ⅱ - 3 歯学系CBT

③ 素点の累積相対度数分布と及び全国的な成績評価の指標

成績評価の参考となる素点の累積度数分布、素点の平均値-2SD、平均値-1.5SD、素点60点未満の学生の割合、素点80点以上の学生の割合を下の図と表に示します。

平均値-2SDは2011年度よりやや増加し、素点60点未満の学生が減少、素点80点以上の学生が増加しています。



素点の分布上状況における
受験者の占める得点と割合

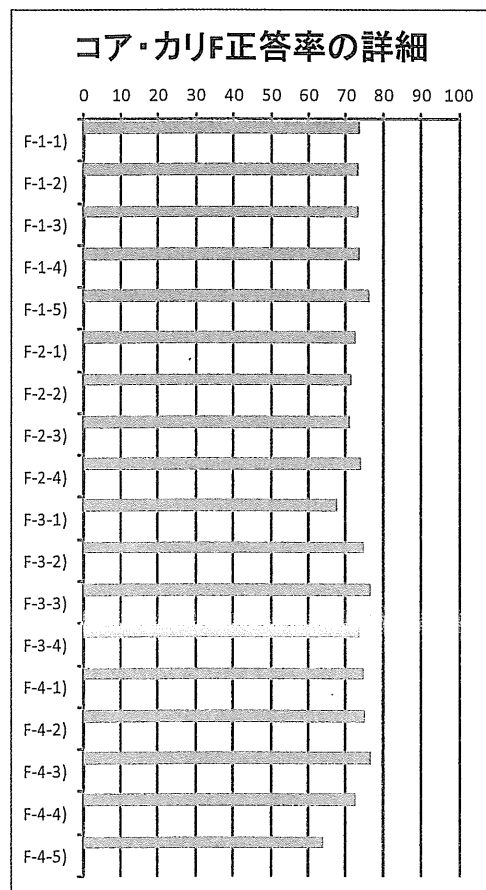
	2012年度	2011年度
平均-2SD	54.4点	53.8点
平均-1.5SD	58.9点	58.1点
60点未満	9.4%	11.1%
80点以上	27.9%	22.3%

④ モデル・コア・カリキュラム項目別・問題形式別成績

試験ブロック1~4に出題された単純5肢択一問題の正答率は73.5%，多選択肢2連問は74.1%，順次解答2/4連問では73.9%であり、何れの問題形式でもほぼ同じ正答率です。

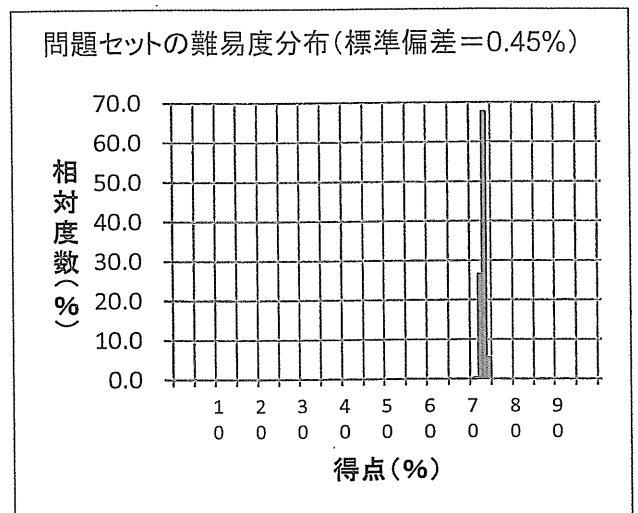
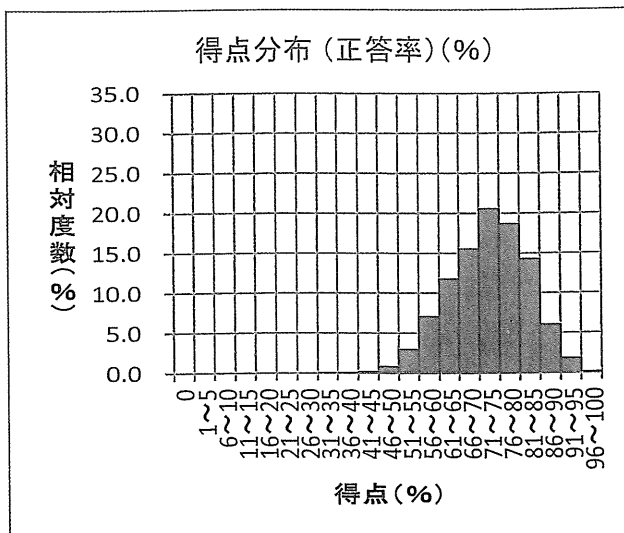
モデル・コア・カリキュラム項目（平成19年改訂版）別及び問題形式別の正答率を下図左に、コア・カリキュラム項目Fの正答率の詳細を下図右に示します。コア・カリキュラム項目別に大きな正答率の差は認められません。

	2012年	2012年	2011年
	正答率	標準偏差	正答率
コア・カリキュラム項目別成績			
A	76.2	22.5	74.8
B	70.2	24.3	67.8
C	74.1	13.5	71.8
D-1	73.2	19.6	71.6
D-2	72.2	15.5	70.9
D-3	74.5	19.7	73.2
D-4	73.0	19.0	71.2
D-5	71.5	19.3	72.0
E	71.7	18.5	71.3
F-1	73.7	13.4	71.7
F-2	73.6	12.7	72.7
F-3	73.8	11.7	72.3
F-4	74.9	13.6	73.8
問題形式別成績			
単純5肢択一	73.5	10.1	72.2
多選択肢2連問	74.1	14.1	72.4
順次解答2/4連問	73.9	10.4	72.7
順次解答2連問	73.5	14.5	71.6
順次解答4連問	74.1	10.8	73.1



第6回(2011年度)全国成績

- 前期に16大学, 後期に13大学で実施され, 2,584人が本試験を受験しました。採点対象問題合計の平均正答率は72.3%, 最高点は95.5%, 最低点は33.9%でした。問題セットの採点対象問題の平均難易度分布の標準偏差は0.45%であり, 難易度差は極めて小さな値となっています。
- 試験ブロック1~4に出題された単純5肢択一問題の平均正答率は72.2%, 多選択肢2連問は72.4%, 順次解答2/4連問では72.7%であり, 何れの問題形式でもほぼ同じ平均正答率です。
- 月別に受験者数と平均正答率を下記の表に示します。受験時期が遅くなるに従って正答率が上昇する傾向にあります。



受験者数 =2,584人	採点対象問題			
	合計	単純5肢択一	多選択肢2連問	順次解答2/4連問
最高点	95.5	97.8	100.0	97.8
最低点	33.9	35.6	12.5	32.6
平均値	72.3	72.2	72.4	72.7
標準偏差	9.4	9.9	14.4	9.8
中央値	72.7	72.8	75.0	73.9
2010年度平均値	73.1	73.0	73.1	73.8

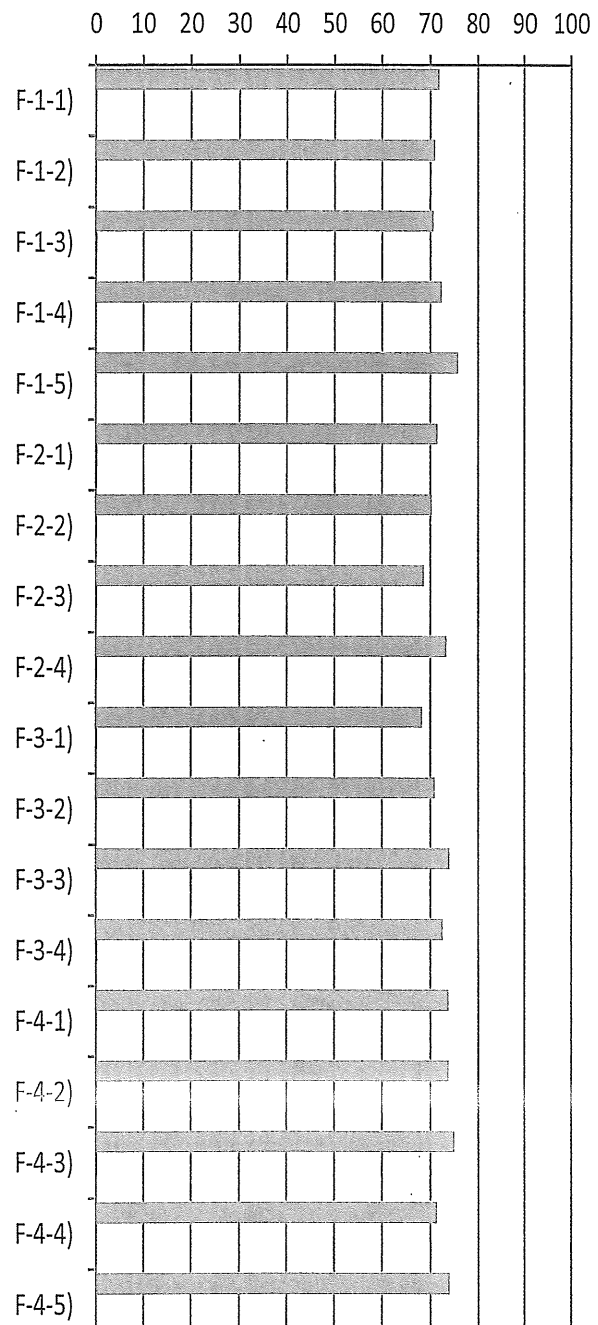
	受験者数	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2010年度平均値
2010年12月 2011年1月	184	69.4	8.9	92.6	44.2	69.4	69.0
2011年2月 2011年3月	1,520	70.9	9.5	95.0	33.9	71.5	73.4
2011年6月	396	73.6	8.9	93.8	48.3	74.0	72.0
2011年7月	312	77.0	8.3	94.6	47.5	78.1	77.3
2011年8月	172	76.2	7.9	95.5	53.7	76.7	77.0

モデル・コア・カリキュラム項目別・問題形式別平均正答率

モデル・コア・カリキュラム項目別及び問題形式別の平均正答率を下図左に、コア・カリキュラム項目 F の正答率の詳細を下図右に示します。コア・カリキュラム項目別に大きな正答率の差は認められません。

	2011年度	2010年度
	正答率	正答率
コア・カリキュラム項目別成績		
A	74.8	75.6
B	67.8	68.6
C	71.8	72.9
D-1	71.6	73.6
D-2	70.9	73.8
D-3	73.2	73.2
D-4	71.7	72.7
D-5	72.0	71.8
E	71.3	71.5
F-1	71.7	72.9
F-2	72.7	73.1
F-3	72.3	72.7
F-4	73.8	73.8
問題形式別成績		
単純5肢択一	72.2	73.0
多選択肢2連問	72.4	73.1
順次解答2/4連問	72.7	73.8
2連問	71.6	73.3
4連問	73.1	74.1
合計	72.3	73.1

コア・カリF正答率の詳細

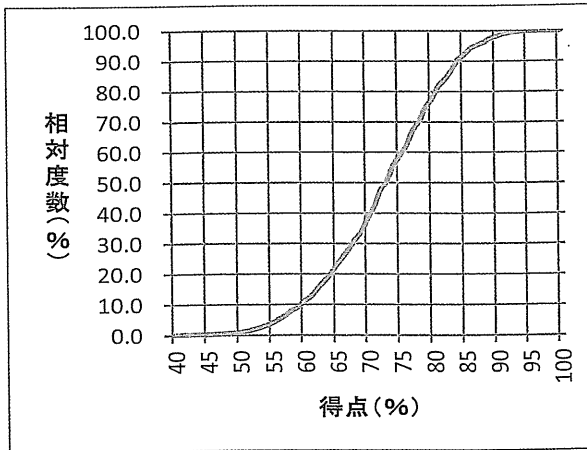


2-3) 歯学系CBT

CBT平均正答率の累積度数分布と全国的な成績評価の指標

成績評価の参考となる平均正答率の累積度数分布，平均得点-2SD値，平均得点-1.5SD，得点60点未満の学生の割合，得点80%以上の学生の割合を下の図と表に示します。

平均-2SD値は2010年度とほぼ同じ，正答率60%未満の学生が増加，80%以上の学生が減少しています。



	2011年度		2010年度	
平均-2SD	53.8	点	53.9	点
平均-1.5SD	58.1	点	58.4	点
60点未満	11.1	%	9.7	%
80点以上	23.3	%	26.8	%

再試験について

再試験受験者数は，第1回105人，第2回138人，第3回290人，第4回366人，第5回382人，第6回473人で，6回の平均は，約290人です。次第に再受験者数が増加しています。

なお，第6回においても機構(東京)を会場として再試験が試験的に実施され，5大学，10人が受験しました。

第6回(2011年度)の再試験受験者473人の本試験と再試験の成績は，以下のとおりです。

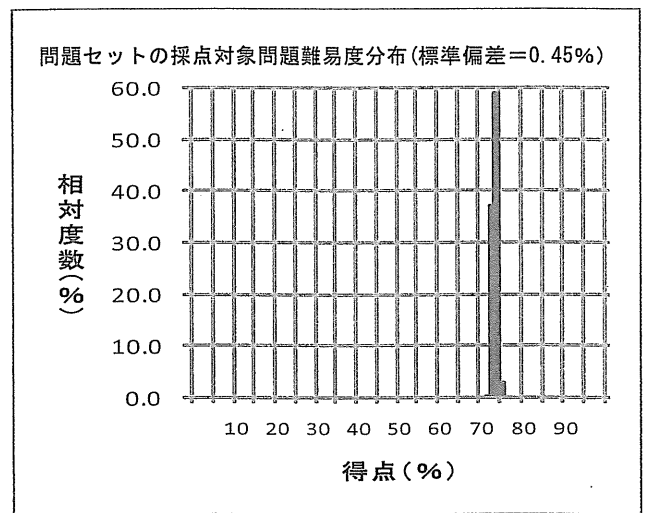
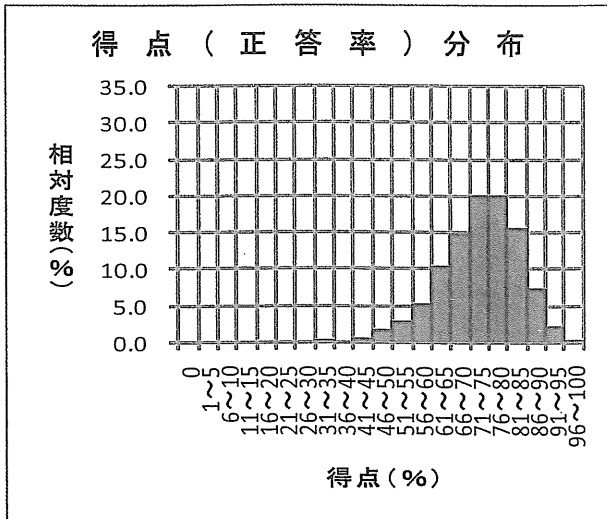
	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2010年度 平均値
	本試験	59.1	5.6	69.8	33.9	59.1
再試験	64.7	6.7	79.3	37.6	65.7	63.9
差(再一本)	5.7	5.0	19.0	-11.2	5.8	6.2

	コアカリ項目						
	A/B	C	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5
本試験	61.5	59.9	56.9	56.6	56.7	56.8	56.3
再試験	68.4	66.6	62.9	60.1	64.6	60.9	62.5
差(再一本)	6.9	6.6	6.0	3.5	7.9	4.2	6.2

	コアカリ項目					5肢択一	多選択肢 2連問	順次解答 2/4連問
	E	F-1	F-2	F-3	F-4			
本試験	58.9	58.6	58.0	59.1	60.8	58.6	58.7	61.1
再試験	64.0	64.0	64.6	64.1	65.9	64.2	64.5	67.0
差(再一本)	5.1	5.4	6.5	5.0	5.2	5.6	5.9	5.9

第5回(2010年度)全国成績(前期・後期分)

- 第5回(2010年度)では、前期・後期合計2,565人が本試験を受験しました。採点対象問題合計の平均正答率は73.1%、最高点は95.8%、最低点は32.5%でした。問題セットの採点対象問題の平均難易度分布の標準偏差は0.45%であり、難易度差は極めて小さな値となっています。
- 試験ブロック1~4に出題された単純5肢択一問題の平均正答率は73.0%、多選択肢2連問は73.1%、順次解答2/4連問では73.8%であり、何れの問題形式でもほぼ同じ平均正答率です。
- 前期に本試験を実施した大学は15大学、後期は14大学です。月別に受験者数と平均正答率を下記の表に示します。受験時期が遅くなるに従って正答率が上昇する傾向にあります。



	採点対象問題			
	合計	単純5肢択一	多選択肢2連問	順次解答2/4連問
受験者数	2,565	2,565	2,565	2,565
最高点	95.8	96.7	100.0	100.0
最低点	32.5	31.7	14.3	32.6
平均値	73.1	73.0	73.1	73.8
標準偏差	9.8	10.2	15.2	10.2
中央値	73.8	73.9	71.4	73.9
2009年度平均値	73.1	72.9	73.9	73.2

	受験者数	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2009年度平均値
2009年12月・2010年1月	495	69.0	10.0	93.3	41.3	70.4	69.9
2010年2月	1,062	73.4	9.4	95.4	32.5	73.8	72.5
2010年6月	433	72.0	9.9	95.8	34.6	72.5	73.1
2010年7月	407	77.3	8.4	95.0	50.4	78.3	76.2
2010年8月	168	77.0	8.9	92.5	45.0	77.9	77.7

コア・カリキュラム項目別・問題形式別平均正答率

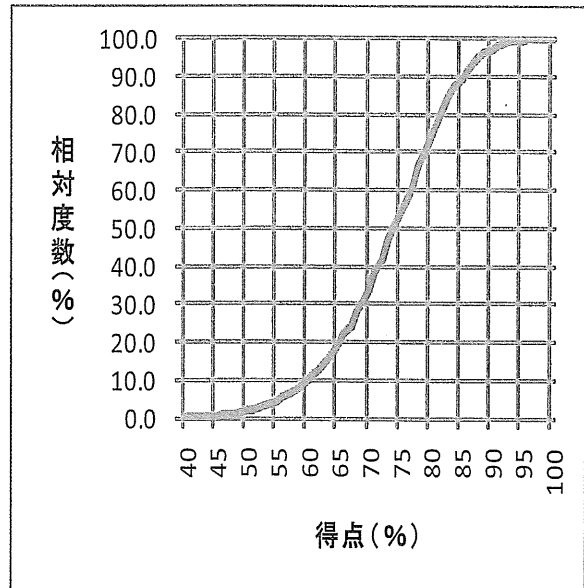
コア・カリキュラム項目別及び問題形式別の平均正答率に大きな差は認められません。

	2010年度	2009年度
	正答率	正答率
コア・カリキュラム項目別成績		
A	75.6	73.4
B	68.6	72.2
C	72.9	72.8
D-1	73.6	74.0
D-2	73.8	71.5
D-3	73.2	72.9
D-4	72.7	72.5
D-5	71.8	73.4
E	71.5	72.3
F-1	72.9	73.0
F-2	73.1	73.8
F-3	72.7	73.0
F-4	73.8	71.9
問題形式別成績		
単純5肢択一	73.0	72.9
多選択肢2連問	73.1	73.2
順次解答2/4連問	73.8	73.2
2連問	73.3	73.0
4連問	74.1	73.3
合計	73.1	73.1

CBT得点の累積度数分布と全国的な成績評価の指標

成績評価の参考となる得点の累積度数分布、平均得点-2SD値、平均得点-1.5SD値、得点60点未満の学生の割合、得点80%以上の学生の割合を下の図と表に示します。

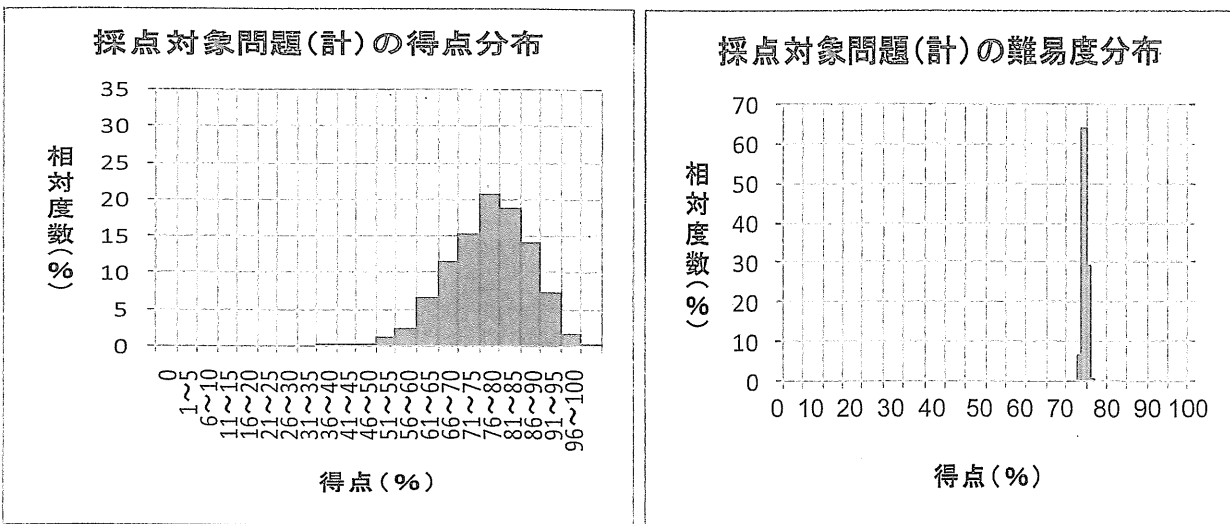
平均-2SD値及び平均-1.5SD値が2009年度に比べ低下し、正答率60%未満、80%以上の学生の割合が増加しています。



	2010年度	2009年度
平均-2SD	53.9 点	54.2 点
平均-1.5SD	58.4 点	58.7 点
60点未満	9.7 %	9.1 %
80点以上	26.8 %	25.7 %

第4回(2009年度共用試験)全国成績(前期及び後期中間報告)

- 第4回(2009年度共用試験)では、前期後期合計2,421人が本試験を受験しました(7月末現在)。採点対象問題合計の平均正答率は72.7%、最高点は97.9%、最低点は35.0%でした。問題セット間の平均難易度の標準偏差は0.49%であり、難易度差は極めて小さい範囲に維持されています。採点対象問題の得点分布と平均難易度分布を下図に示します。
- 試験ブロック1~4に出題された単純5肢択一問題の平均正答率は72.6%、多選択肢2/4連問は、73.6%、順次解答2/4連問では72.9%であり、何れの問題形式でもほぼ同じ平均正答率です。
- 前期に本試験を実施した大学は12大学、後期は14大学です(7月末現在)。月別に受験者数と平均正答率を下記の表に示します。受験時期が遅くなるに従って正答率が上昇する傾向にあります。



	採点対象問題			
	合計	単純5肢択一	多選択肢2/4連問	順次解答2/4連問
受験者数	2,421	2,421	2,421	2,421
最高点	97.9	97.2	100.0	100.0
最低点	35.0	36.7	26.7	26.7
平均値	72.7	72.6	73.6	72.9
標準偏差	9.6	9.8	12.7	11.4
中央値	73.3	73.3	73.3	73.3
2008年度平均値	73.5	73.6	73.8	73.2

	受験者数	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2008年度平均値
2009年1月	610	69.9	9.7	92.1	35.0	70.4	69.0
2009年2月	680	72.5	9.3	93.8	42.1	72.9	75.8
2009年6月	653	73.1	10.0	97.9	36.7	73.8	73.2
2009年7月	478	76.2	8.3	95.4	51.7	76.3	76.3

2-3) 歯学系 CBT

コア・カリキュラム項目別・問題形式別平均正答率

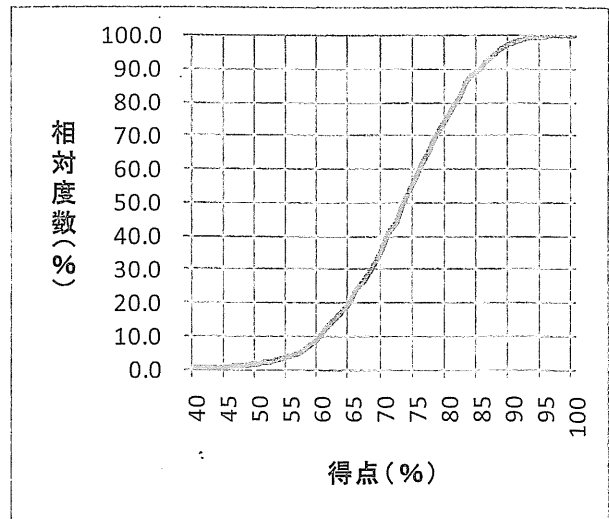
コア・カリキュラム項目別の平均正答率に大きな差は認められません。

	2009年度	2008年度
	正答率	正答率
A	73.4	72.5
B	72.0	78.6
C	72.4	77.6
D-1	73.4	73.0
D-2	71.0	73.0
D-3	72.7	73.5
D-4	72.2	73.5
D-5	73.2	72.9
E	72.2	72.0
F-1	72.5	72.7
F-2	73.5	74.1
F-3	72.7	72.8
F-4	71.7	72.5
単純5肢択一	72.6	73.6
多選択肢2/4連問	73.6	73.8
2連問	73.0	74.1
4連問	74.2	73.4
順次解答2/4連問	72.9	73.2
2連問	72.6	73.2
4連問	73.0	73.2
合計	72.7	73.5

CBT 平均正答率の累積度数分布と全国的な成績評価の指標

成績評価の参考となる平均正答率の累積度数分布、平均得点-2SD値、平均得点-1.5SD、得点60点未満の学生の割合、得点80%以上の学生の割合を下の図と表に示します。

平均-2SD、平均-1.5SD値が2008年度に比べ低下し、正答率60未満の学生の割合が増加しています。



	2009年度		2008年度	
平均-2SD	53.9	点	55.1	点
平均-1.5SD	58.3	点	59.4	点
60点未満	9.6	%	8.4	%
80点以上	24.7	%	27.6	%

再試験について

2009年度前期・後期分（中間結果，2009年7月末現在）の再試験受験者は343人です。過去の再試験受験者数は，第1回（2006年度）では105人，第2回（2007年度）では138人，第3回（2008年度）では290人でしたので，再試験受験者数が次第に増加しています。

なお，再試験受験者の本試験における平均成績は，第1回（2006年度）では53.4%，第2回（2007年度）では59.0%，第3回（2008年度）では59.2%，第4回（2009年度）では58.1%となっています。

2009年度の再試験受験者の本試験と再試験の成績を下の表に比較してあります。

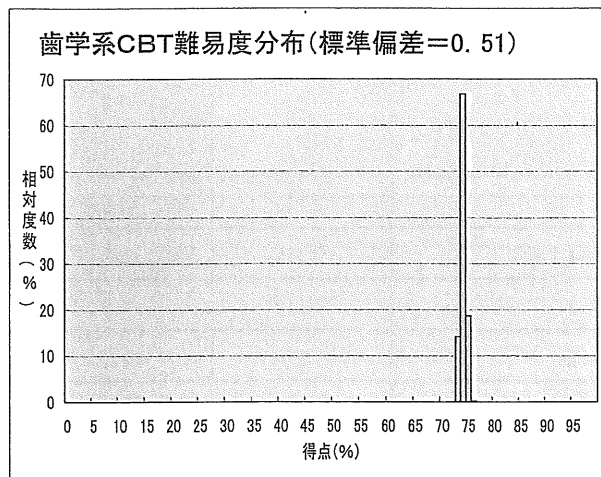
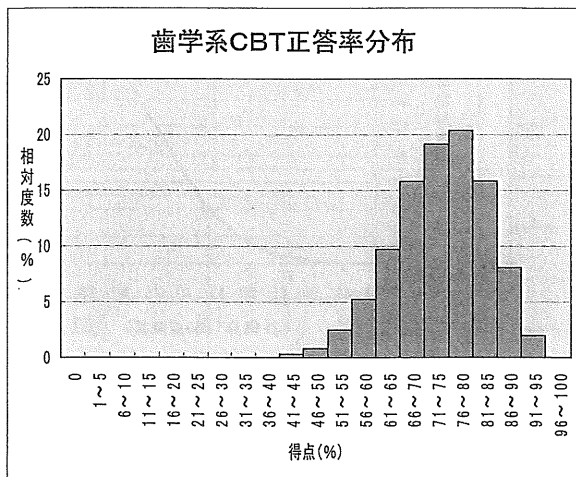
	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2008年度 平均値
本試験	58.1	6.3	69.6	35.0	58.8	59.2
再試験	63.9	7.6	83.8	36.7	64.6	64.9
差（再一本）	5.8	5.3	19.6	-12.5	5.8	5.7

	コアカリ項目							
	A	B	C	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5
本試験	64.0	62.8	61.7	58.1	54.7	56.3	55.8	55.3
再試験	70.2	69.5	65.6	65.1	60.5	62.2	62.5	60.5
差（再一本）	6.3	6.8	3.9	7.0	5.8	5.8	6.7	5.2

	コアカリ項目					5肢択一	多選択肢 2/4連問	順次解答 2/4連問
	E	F-1	F-2	F-3	F-4			
本試験	58.5	57.4	56.8	58.7	58.7	58.0	57.2	59.3
再試験	61.9	63.3	63.6	64.7	63.6	63.8	63.8	64.6
差（再一本）	3.4	5.9	6.8	6.0	4.8	5.7	6.7	5.3

第3回正式実施(2008年度共用試験)歯学系CBTの全国成績(前期後期合計)

1. 第3回正式実施(2008年度共用試験)では、前期後期合計2,466名が本試験を受験しました。採点対象問題合計の平均正答率は73.5%、最高点は96.7%、最低点は38.8%でした。問題セット間の平均難易度の標準偏差は0.51%であり、難易度差は極めて小さい範囲に分布しています。
2. 試験ブロック1~4に出題された単純5肢択一問題の平均正答率は73.6%、多選択肢2/4連問は73.8%、順次解答2/4連問では73.2%であり、何れの形式でもほぼ同じ平均正答率でした。
3. 前期に本試験した大学8大学、後期が20大学です。月別の受験者数と平均正答率を表に示します。平均正答率は前期の早い時期で低く、後期の後半で高くなっています。



	採点対象問題			
	合計	単純5肢択一	多選択肢2/4連問	順次解答2/4連問
受験者数	2,466	2,466	2,466	2,466
最高点	96.7	98.3	100.0	100.0
最低点	38.8	36.7	23.3	26.7
平均値	73.5	73.6	73.8	73.2
標準偏差	9.4	9.7	12.0	10.7
中央値	74.2	73.9	73.3	73.3
2007年度平均値	76.1	76.6	74.9	74.8

	受験者数	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2007年度平均値
2008年1月	579	69.0	9.9	93.3	38.8	69.2	72.8
2008年2月	308	75.8	9.0	96.7	44.6	76.7	74.6
2008年6月	855	73.2	9.0	94.6	42.5	73.3	75.6
2008年7月	563	76.3	8.3	94.2	53.8	76.7	79.9
2008年8月	161	77.7	7.2	95.0	55.4	78.8	80.3

2-3) 歯学系CBT

モデル・コア・カリキュラム項目別・問題形式別正答率および正答率の分布

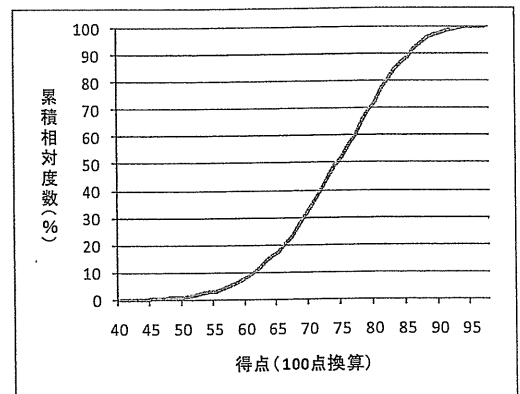
2008年度では、モデル・コア・カリキュラム項目C社会と歯学を除き、他の全ての項目で正答率が2007年度より軽度に低下しています。また単純5肢択一、多選択肢連問、順次解答連問の何れでも平均正答率が2007年度より低下する傾向を示しています。

成績下位の指標となる平均値 $-2(1.5)SD$ (標準偏差)の値は2007年度に比べて低下しており、60%未満の受験生の割合も増加しています。逆に正答率80%以上の割合は低下しています。

モデル・コア・カリキュラム項目別・問題形式別正答率

	2008年度	2007年度	2006年度
	平均正答率	平均正答率	平均正答率
A	72.5	76.4	74.5
B	78.6	85.1	83.8
C	77.6	74.9	78.6
D-1	73.0	76.0	80.4
D-2	73.0	74.8	79.1
D-3	73.5	77.2	82.4
D-4	73.5	74.9	80.2
D-5	72.9	76.5	81.2
E	72.0	76.7	78.7
F-1	72.7	76.8	77.9
F-2	74.1	78.0	79.8
F-3	72.8	75.9	77.0
F-4	72.5	77.3	78.4
単純5肢択一	73.6	76.6	78.8
多選択肢2/4連問	73.8	74.9	77.5
順次解答2/4連問	73.2	74.8	76.4
合計	73.5	76.1	78.3

2008年度正答率の累積度数分布



2008年度

平均 $-2SD$	55.1 点
平均 $-1.5SD$	59.4 点
60点未満の割合	8.4 %
80点以上の割合	27.6 %

参考:2007年度

平均 $-2SD$	58.4 点
平均 $-1.5SD$	62.5 点
60点未満の割合	4.7 %
80点以上の割合	36.7 %

参考:2006年度

平均 $-2SD$	59.4 点
平均 $-1.5SD$	63.8 点
60点未満の割合	4.8 %
80点以上の割合	47.6 %

再試験について

2008年度前期・後期分の再試験受験者は合計290名でした。再試験受験者数は、第2回正式実施(2007年度)では、138名、第1回正式実施(2006年度)では105名でしたので、再試験受験者数が次第に増加しています。

2008年度の再試験受験者の本試験と再試験の成績の比較を示します。

2008年度再試験における本試験と再試験の成績の差

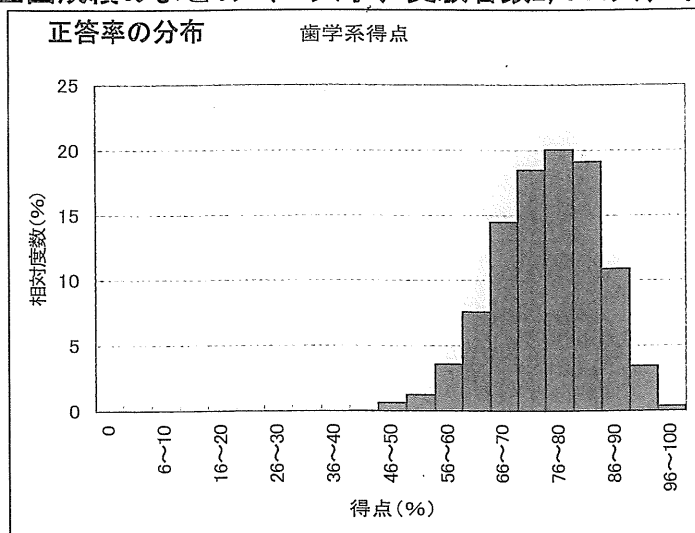
	平均値	標準偏差	最高点	最低点	中央値	2007年度	2006年度
						平均値	平均値
本試験	59.2	6.5	69.6	38.8	59.2	59.0	53.4
再試験	64.9	7.8	81.7	40.8	65.8	66.0	57.3
差(再一本)	5.7	5.1	18.8	-8.8	5.4	7.0	3.9

	コアカリ項目							
	A	B	C	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5
本試験	63.3	73.1	67.2	55.6	58.1	55.5	56.5	54.9
再試験	68.4	73.0	72.5	63.0	62.0	63.8	62.9	60.9
差(再一本)	5.1	-0.2	5.3	7.4	3.8	8.2	6.5	6.0

	コアカリ項目					5肢択一	多選択肢 2/4連問	順次解答 2/4連問
	E	F-1	F-2	F-3	F-4			
本試験	59.3	57.8	58.2	58.5	58.4	59.1	58.9	60.4
再試験	62.5	64.1	64.9	63.8	63.9	64.7	65.0	65.9
差(再一本)	3.2	6.3	6.7	5.2	5.5	5.6	6.1	5.5

第2回正式実施（2007年度共用試験）歯学系CBTの全国成績（中間報告）

全国成績のまとめ（22大学、受験者数2,144人、平成19年7月31日現在）



問題形式	平均難易度の標準偏差
単純5択一	0.67
多選択肢2/4連問	2.24
順次解答2/4連問	1.73
合計	0.63

正答率等のまとめ

	2007年度前期	2007年度後期	2007年度全体	2006年度
大学数	8	14	22	28
受験者数(人)	873	1,271	2,144	2,606
最高点 (%)	94.8	97.8	97.8	97.8
最低点 (%)	45.7	44.0	44.0	30.7
平均正答率 (%)	73.5	76.7	75.4	78.3
標準偏差 (%)	8.9	9.0	9.1	9.7
中央値 (%)	74.0	77.6	76.0	79.4

(後期分は平成19年7月31日まで)

コアカリ項目別／問題形式別正答率

コアカリ項目／問題形式	正答率
A	76.0
B	84.7
C	74.1
D-1	74.9
D-2	73.8
D-3	76.5
D-4	74.2
D-5	75.9
E	76.2
F-1	76.3
F-2	77.1
F-3	75.1
F-4	76.7
単純5択一	75.8
多選択肢2/4連問	74.2
順次解答2/4連問	74.1
合計	75.4

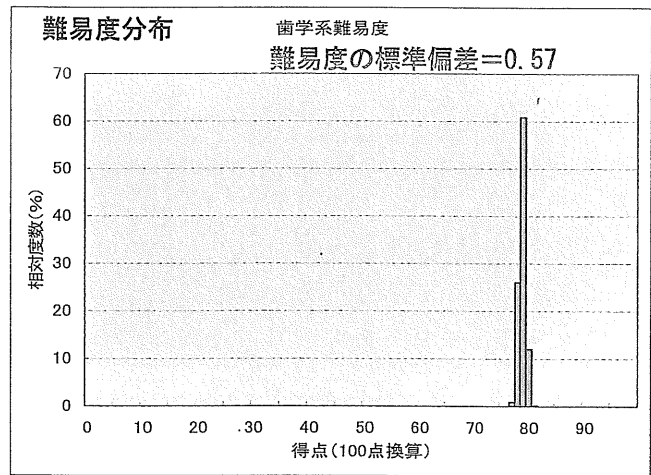
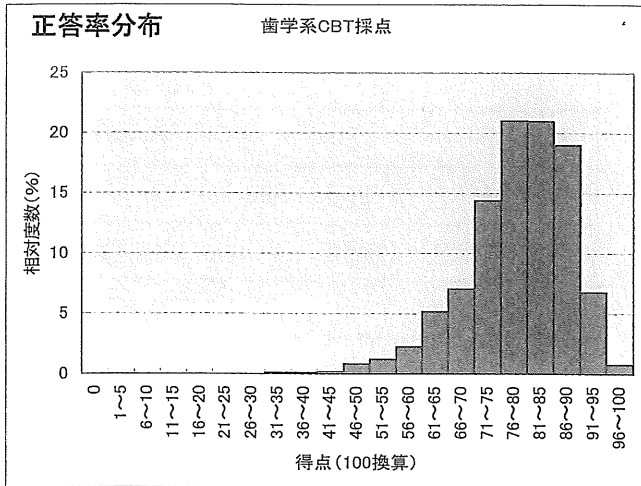
第2回正式実施：歯学系CBT全国成績（中間報告）の概要

- 平均正答率では、2006年度に比べて、全体合計、単純5択一、多選択肢連問、順次解答連問の平均正答率が低下している。
- 平均難易度の標準偏差は2006年度に比べてやや増加したが、極めて低い値に維持されている。
- 多選択肢連問と順次解答連問の正答率はほぼ同じである。



第1回正式実施（2006年度共用試験）歯学系CBTの全国成績

全国成績のまとめ



正答率等のまとめ

対象数 (人)	2606
最大値 (100点換算)	97.8
最小値 (〃)	30.7
平均値 (〃)	78.3
標準偏差 (〃)	9.67
中央値 (〃)	79.4
平均-2SD (〃)	59.4
平均-1.5SD (〃)	63.8
60点未満の割合 (%)	4.8
80点以上の割合 (%)	47.6

コア・カリ項目別・問題形式別平均正答率、平均識別率および平均点双列相関係数

コア・カリ項目 問題形式	平均正答率	識別指数	点双列 相関係数
A	74.5	0.16	0.14
B	83.8	0.14	0.13
C	78.6	0.22	0.18
D-1	80.4	0.34	0.30
D-2	79.1	0.33	0.28
D-3	82.4	0.32	0.26
D-4	80.2	0.33	0.28
D-5	81.2	0.32	0.28
E	78.7	0.27	0.24
F-1	77.9	0.27	0.23
F-2	79.8	0.31	0.27
F-3	77.0	0.28	0.24
F-4	78.4	0.26	0.23
単純5肢択一合計	78.8	0.29	0.25
多選択肢2/4連問	77.5	0.32	0.27
順次解答2/4連問	76.4	0.29	0.25
合計	78.3	0.29	0.25

再試験受験者の本試験と再試験の平均正答率 (%) 比較 (追試験は参考)

	受験者数	最大値	最小値	平均値	標準偏差
本試験	105	67.5	30.7	53.4	7.71
再試験	105	79.8	32.9	57.3	10.05
追試験	2			71.1	



〇〇〇〇年度共用試験歯学系CBT個人別成績表

試験実施ID:
実施日:
受験番号:
試験種別:

学校名:
試験会場:

学籍番号:
氏名:

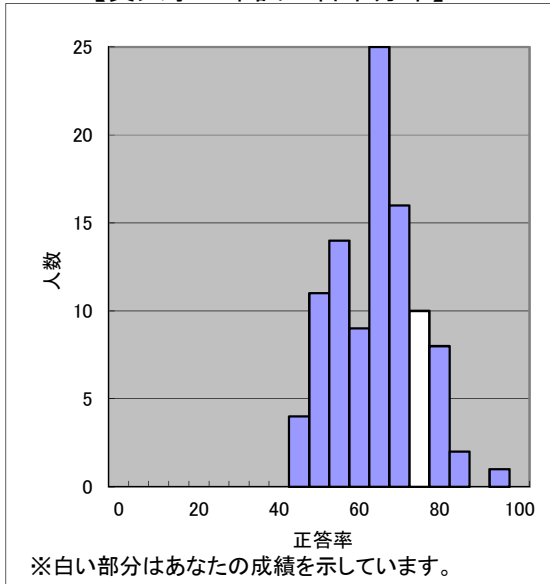
本試総受験者数:
備考:

正答率: あなたの順位は〇〇人中△△位です。

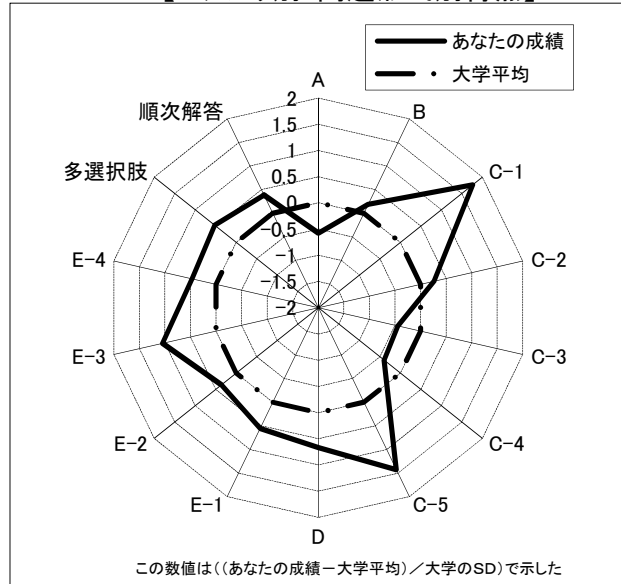
【コアカリ別・問題形式別集計】

コアカリ・形式	正答率	大学平均	大学最低値	大学中央値	大学最高値	大学SD
A						
B						
C-1						
C-2						
C-3						
C-4						
C-5						
D						
E-1						
E-2						
E-3						
E-4						
単純5肢択一						
多選択肢						
順次解答						
合計						

【貴大学の本試正答率分布】



【コアカリ別・問題形式別得点】



各数値の説明

1. 大学SD

皆さんの大学の標準偏差(SD)を計算してあります。一般に山型の分布をしている場合、平均値±標準偏差の中にその集団の68%の人が含まれます。

2. コアカリ別・問題形式別得点

各コアカリ・問題形式別に大学の平均値と標準偏差が計算されています。これを用いて、あなたのコアカリ別・問題形式別正答率から平均値をとり、標準偏差で割ることにより、どのコアカリにおいてもその分布の中の位置が分かります。この値が+であれば平均より大であり、1を超えていると集団内で上位16%グループの位置にある事を示します。

〇〇〇〇年度共用試験歯学系OSCE個人成績結果表

大学名＝
試験日

検索番号＝

学籍番号＝
氏名＝

ステーション名	課題名
初診時医療面接	1-2 初診患者の医療面接(慢性症状)
基本的診察および検査能力	2-3 頭頸部(顎・顔面・頸部)診察
基本的技能1	3-3 ラバーダム防湿
説明指導	4-3 欠損補綴の治療方針の説明
基本的臨床技能1	5-5 普通抜歯
基本的臨床技能2	5-6 フッ化物塗布

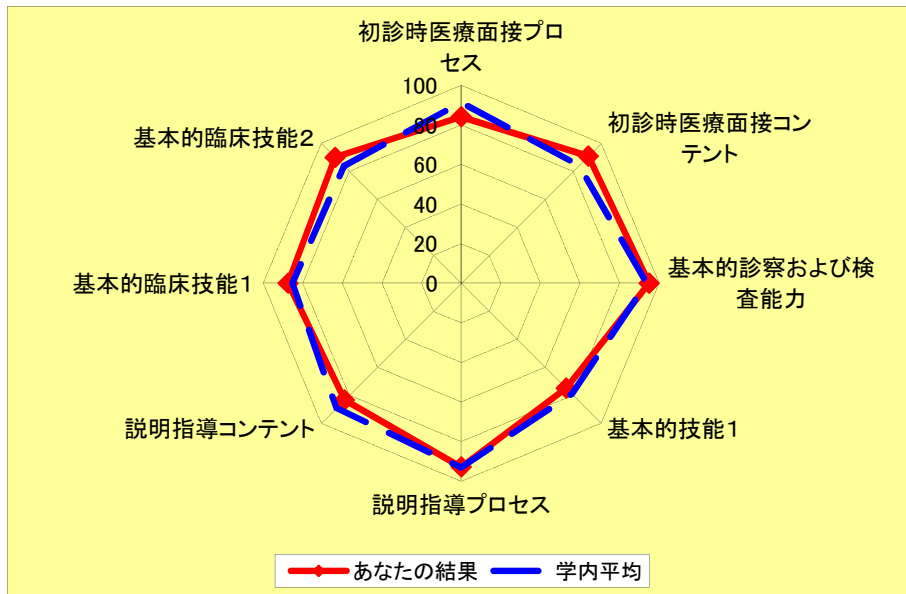
○全ステーション平均得点

90%以上	80~90%	70~80%	60~70%	40~60%	40%未満
	○				

○概略評定

6	5	4	3	2	1
		○			

○得点のレーダーチャート



※注釈

全ステーション平均得点: 全ステーションの課題別項目加算得点の平均値(100点換算)を示してあります。

概略評点: 項目加算得点では評価できない部分の評価得点で、課題全体の流れ、患者さんへの態度の評価を含みます。すべてのステーションの平均値です。最も良好なものは6点です。

得点のレーダーチャート: 各課題別の項目加算得点(医療面接、説明・指導はプロセスとコンテンツ別)を示してあります。実線(赤色)があなたの得点、点線(青色)が、大学内の平均値です。